科目名	国際政治史 B　　History of International Politics B						
科目担当者	千知岩 正継　　CHIJIIWA Masatsugu						
単位数	2	配当年次	2 年	授業形態	講義	開講学期	後期
履修学部・学科［区分］ 他学部他学科履修	法学部・法律学科［専門教育科目　専門科目］ 他学部他学科履修〇					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	日本国内であれ国家間であれ、現在進行中の政治現象を把握・判断し、今後の政治を展望するには、理論や思想にくわえて歴史的な知識が必要になります。そこでこの授業では、現代の普遍的ないしグローバルな国際社会の成立とその変遷に関する歴史を振り返り、解説します。本授業では、20 世紀後半の国際政治を規定した冷戦時代を解説し、そのうえでポスト冷戦時代に国際社会がどう変容したのかを検討します。そのなかで、国際人権保障の始まりや脱植民地化、ヨーロッパ統合など重要な個別テーマも扱います。						
授業の到達目標	①　現代の国際政治の背景をなす歴史を理解できる。 ②　現在と過去の政治的出来事を結びつけて考えられるようになる						
授業計画・内容	1	冷戦の起源と分断体制					
	2	グローバル化する冷戦①―ヨーロッパ冷戦の安定―					
	3	グローバル化する冷戦②―冷戦のグローバル化―					
	4	冷戦体制の変容①―米ソ関係と同盟関係の変容―					
	5	冷戦体制の変容②－ベトナム戦争、二つのデタント					
	6	冷戦終結への道①－「新冷戦」					
	7	冷戦終結への道②－さまざまな冷戦の終わり方					
	8	湾岸戦争と新世界秩序					
	9	ソ連解体					
	10	EU の誕生と進化・拡大					
	11	冷戦後の地域紛争・民族紛争①―ソマリア、ルワンダ―					
	12	冷戦後の地域紛争・民族紛争②―ボスニア、コソボ―					
	13	新興国台頭					
	14	21 世紀の国際政治①－9.11 から「アラブの春」					
	15	21 世紀の国際政治②－G ゼロの時代？					
授業外学修 (事前学修)	前回の配布プリントの再確認、テキストの指定箇所の熟読（毎週 1.5 時間程度）						
授業外学修 (事後学修)	ノートの点検、配布プリントの設問の解答、テキストや参考文献の熟読、国内外の政治関連ニュースのチェック（毎週 2.5 時間程度）						
成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法			評価比率		到達目標との対応	
	定期試験 リフレクション・カード			70% 30%		①、② ①、②	
成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合						
教科書	小川浩之、板橋拓己、青野利彦『国際政治史―主権国家体系のあゆみ―』新版、有斐閣、2024 年。						
参考文献	有賀貞『現代国際関係史―1945 年から 21 世紀初頭まで―』東京大学出版会、2019 年。 佐々木雄太『国際政治史―世界戦争の時代から 21 世紀へ―』名古屋大学出版会、2011 年。 マーティン・ワイト 『パワー・ポリティクス』日本経済評論社、2025 年（大中真、佐藤誠、池田丈佑、千知岩正継、他訳）						
その他	Moodle 上からのアナウンスで連絡をするのでメールの確認をしっかりすること。 この授業の前編にあたる「国際政治史 A」（後期）を履修しておくことが望ましい。						